

所沢七福神めぐり

2024. 2. 12 記 小暮 恒二

- *実施日：令和6年（2024）2月1日（木）
- *場 所：七福神の内五福神（海蔵寺、本覚院、光蔵寺、仏眼寺、永源寺）
- *集 合：西所沢駅2番ホーム（下山口駅方向先頭車両のホーム）集合：9時20分
- *参加者：24名（内3名はビジター）

1 計画した日程・コース

西所沢駅発9：25 —— 下山口駅着9：28（トイレ）9：40発・・・
・海蔵寺 9:50 着・・・本覚院 10:20 着・・・光蔵寺 10:45 着・・・
・鳩峯公園トイレ11:05着11:15発・・・（鳩峯公園 落ち葉を踏みしめ進む道）・・・
・（水天宮）・・・仏眼寺 11:50着・・・永源寺 12:20 着 12：30解散

- *所沢七福神は、令和元年を記念して平塚宗臣氏の発願で開場されたとのことである。
- *今回は、荒幡富士や八国山緑地を避け、比較的平坦で歩きやすいコース設定とした。
- *西所沢駅の西武球場前行きホームは、2番、3番ホームとなっており、間違えやすいので西所沢駅2番ホーム集合として、下山口駅に着いたらトイレを済ませて改札を出るよう指示することとした。
- *参加者が自身の体力に合わせて参加しやすいように、参加案内文書に下山口駅からのおよその歩数を示した。また、コース途中、仏眼寺近くの水天宮下バス停から所沢駅に帰れることなどを示した。
- *昼食は「解散後各自で」として、昼食場所が多い西所沢駅に近い永源寺で日程を終了することとした。



海蔵寺にて

2 実施状況

- ・参加者の集合状況は、西所沢駅21人、下山口駅2人、海蔵寺1名。西所沢駅集合の参加者は9時25分の西武球場行き電車が発車する7～8分前には集まっていたので、電車に余裕をもって乗り込み発車を待つことができた。
- ・参加者の列が長くなるのを避けるため、下山口駅の改札を出た所で、2班に分け、若干の時間差をとって同一ルートを進むこととした。各所での解説等は2班が揃ったところで行った。
- ・当日は、最高気温が15度ぐらいと3月並みの気温であったので、途中で着衣を脱ぎ調節する者が多かった。暖かさの甲斐もあり、途中の鳩峯公園トイレを使用する者は多くは無かった。
- ・各所でゆっくり参拝しても、ほぼ予定通りの時刻で行程を進めることができ、永源寺での解散は12時40分ごろであった。

《コース解説》※各寺院及び七福神についての解説は、所沢七福神「八国山・荒幡富士コース」霊魂会のパンフレットに詳しく載っているので割愛することとします。

下山口駅から踏切を渡り、西方へ進む。柳瀬川上流の橋を渡った所に「桜淵地蔵尊」。織物の盛んな地域のある紺屋で起こった悲しい伝説の伝わる地蔵尊を右に見て進む。この道から右にそれて進んだところに毘沙門天の海蔵寺がある。

海蔵寺から来た道を下山口駅近くまで戻り、踏切手前を右に（東方に）進み、突き当りを右に折

れすぐに橋を渡る。少し進み横断歩道のあるところで左折。しばらく歩くと右側に所沢第2幼稚園、そのまま進むと突き当りの右前方に本覚院の看板あり。布袋尊を祀る本覚院は、突き当たった道から奥まったところにある。

本覚院から右へ出て道なりに進む。(初めは北方向の道がだんだんに東方向になるようにカーブしている。)突き当たり右折、すぐ左折して、右への路地2本目を右折、道なりに南方向に進む。左側に車の往来多い道が見えた所で左折して大通りに出る。大通りは荒幡交差点から西武園駅方面に続いている道で、西武園方面へ進む。(南へ)ほどなくして右側に寿老人を祀る光蔵寺、ここでほぼ中間地点、一休みして出発。

光蔵寺を出た所の手押し釘の信号を渡り、南へ、そしてすぐに左に坂道をあがっていく。コース一番の急坂である。急な坂道を上り終えた所に所沢市南部浄水場があり、左折。ここからは、秩父や奥武蔵の山々がよく見える。砂利道を進み突き当たった所を右へ進むのだが、トイレは左方面少し下ったところにある。ここからは鳩峯公園内の道を進むことになる。公園内の落ち葉を踏みしめ土の道を多少の上り下りを繰り返し進むと左に鳩峯八幡宮、右に水天宮の社が見えてくる。水天宮でも一休み。明治維新まで鳩峯八幡宮の別当を務めていたという仏眼寺は、水天宮の参道を下り右折、坂道を下り右側にある。福祿寿神が祀られている。

仏眼寺から永源寺へは、ほぼ北の方角を目指して進む。水天宮から下りてきた道を戻り、水天宮・鳩峯八幡宮を左に見て進む。坂を上りきると、ほぼ平坦な道。住宅街を進み、吾妻まちづくりセンターを正面に見て右折。463バイパスを山王橋西交差点で渡りまっすぐ進むと突き当たりが永源寺。永源寺には紅梅、白梅が咲いていた。弁財天は本堂と道を隔てて反対側の少し北方に進んだ池の中に祀られている。弁財天をお参りして、今回の七福神めぐりは終了。



3 参加者及び担当者の感想

・春が来たような暖かな2月1日、今年初めての探訪として所沢七福神めぐりを開催しました。中世に始まったといわれる七福神信仰は、江戸時代には盛んになったと言われています。地元の方に聞くと、毎年正月2日に七福神めぐりをする方が多いそうです。

・今回は参加された方に無理のないよう五福神を巡りました。多くの方が参加されたので2つの班に分かれましたが、各神社の説明は一緒に聴きました。皆さん既に何回も行かれている方も多く神社に関わるいろいろな話を聴くことが出来ました。

・ビジター参加の方からは、「会員の男性方がとても勉強熱心で、歩みを止めてはディスカッションを繰り返して、その話に耳を傾けているのも楽しかったし、温かい雰囲気できつろぐことが出来ました。また誘ってください。」との感想が寄せられました。

・全員が最後まで回ることが出来、なるべく平坦なコースの設定がよかったのではと思いました。
・参加者から、所沢出身の現役力士北勝富士関の生家についての話題提供があり、その活躍を見るのが楽しみになりました。

・会員Iさんが、七福神発願の平塚宗臣氏の著書「所沢七福神」を手に各所で解説をしていただきました。また、コース途中にご自宅がある会員Uさん宅のお庭でお茶とお菓子をいただきました。落伍者もなく無事全日程を終え解散となりました。参加された皆様が、2024年が無事過ごせるように願うことが出来た今年初めての探訪でした。

担当 C グループ : 小林 典子 鷲見 るり 小暮 恒二